

巻頭言

「未来」を拓き、創造する人材の育成を目指して

秋田県立本荘高等学校 校長 今井 智幸

本校は、県からキャリア教育実践モデル校の指定を受け、今年度で3年目になります。初年度の平成27年度を「確立期」、2年目の平成28年度を「充実期」、そして3年目の今年度を「発展期」と位置づけ、これまでキャリア教育に取り組んできました。諸事情により、本校のキャリア教育推進委員会の委員長が年度ごとに代わらざるを得ない事情に見舞われてしまいましたが、前年度の取組を受け継ぎ引き継ぎながら、本校の実態と課題を踏まえ、より充実したキャリア教育の実践を目指し、一部軌道修正・改善を加えつつ、今年度に至っております。

例えば、3年間を貫くべき本校のキャリア教育のテーマについて、昨年度は、

主体的・協働的な学びを重視した組織的な授業改善を継続的に推進することによって学力の向上を図るとともに、社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育成するキャリア教育の実践

—21世紀を生き抜く力のエッセンスである「確かな学力」と「キャリアプランニング能力」を伸長するキャリア教育の実践—

となっていましたが、今年度は、

主体的・対話的で深い学びを重視した授業改善に、組織的、継続的に取り組むことによって、確かな学力の向上を図るとともに、キャリア教育の視点から授業をはじめとする様々な教育活動の目標や手立てを明確にし、社会的・職業的に必要な資質・能力を系統的・総合的に育む。

—21世紀を生き抜く力のエッセンスである「確かな学力」と「キャリアプランニング能力」を育むキャリア教育の実践—

と、一部表現を改めました。その主な理由は、次のとおりです。

- 1 本校のキャリア教育の特色は、特に授業でのキャリア教育を充実させることによって、生きる力の基盤となる「確かな学力」を育むことであるが、それは学校を挙げて組織的に取り組むべきであること。
- 2 授業でのキャリア教育の充実に組織的に取り組むことが本校キャリア教育の特色であるが、学校行事、生徒会行事、学年・学級活動、部活動等、すべての教育活動がキャリア教育の視点から目標、手立て、評価の仕方等を明らかにして、計画的に行われるべきであること。
- 3 キャリア教育の取組は、すべての教育活動の相互作用、相乗効果が期待されるよう、総合的・系統的に行われるべきであること。

また、本校の目指すべき「キャリアプランニング能力」についても、

本来の意味の他に、特に、

- 1 志高く、将来の自己実現に向かって計画的に取り組んだり（直線型）、
- 2 生涯に渡って夢を育みながら、将来設計を転換・発展させたりして（螺旋型）、主体的によりよく生きようとする力を形成すること。

と、本校での意味づけを具体化・明確化しました。

キャリアプランニング能力とは、本来、『働くこと』の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて『働くこと』を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリア形成していく力」のことを言います。ただ、キャリア教育が全国で様々に取り込まれる一方、いくつか課題も指摘されるようになってきました。例えば、将来の職業も含め、自己の生き方に方向性や目標をもつことはキャリア教育の成果の一つとも言えますが、すべての人間が当初思い描いた通りに自己実現ができるわけではありません。また、視野や経験の広がり、自己の適性や社会への理解の深まりによって、当初考えていた生き方や職業が変わることもあり得ます。そんな時に、当初の人生設計に拘泥しすぎたり、柔軟に対応できず社会的に不適応を起こしてしまったりする事例が見受けられるようになってきたということです。そのあたりへの問題意識を、

2 生涯に渡って夢を育みながら、将来設計を転換・発展させたりして（螺旋型）、主体的によりよく生きようとする力を形成すること。

に表現したつもりです。

ところで、今年度の本校の「教育方針」は、

- (1) 教育活動全体を通じて、未来を切り拓く人間力や社会に貢献する人材を育成する。
- (2) キャリア教育の充実の下、志高く自己実現を果たそうとする態度を育成する。

そして、「重点目標」は、

- (1) 志高く、自主自律の下、心豊かにたくましく生きる生徒を育成する。
- (2) キャリア教育の視点に立ち、社会的自立に必要な能力や態度を育成する。

と、新たに決めました。

そして、この「教育方針」と「重点目標」は、敢えて全日制・定時制とも同じにしました。確かに、全日制と定時制に在籍する生徒では、それぞれが抱えている事情や進路目標をとっても大きな違いがあり、同じであるのには無理があるという考えがあるかもしれませんが。

しかし、本校の教育活動が、全定を問わず、生きる力の基盤となる「確かな学力」を保証し、「未来を切り拓く人間力や社会に貢献する人材を育成する」ことを目指すことに変わりはありません。それは、公教育に携わる本校の教育的使命であると考えています。また、教育方針の「未来を切り拓く人間力」の「未来」には、生徒一人ひとりの未来、ここ由利本荘市・にかほ市の未来、ふるさと秋田の未来、そして21世紀という未来、という意味が込められています。「未来」を拓き、創造する人間力によって、社会に貢献する人材を育むことが本校の教育方針ですが、そのためには充実したキャリア教育の実践が欠かせません。

人工知能の発達が社会に計り知れない変化をもたらすというシンギュラリティの到来、グローバル化の加速、地域創生・人口減等の課題の山積など、不透明な21世紀という未来を「たくましく生き抜く真の力」が、今、生徒たちには求められています。

その基盤となる資質・能力を、ぜひ本校の高校生活で身に付けて欲しいと思っています。そのため、今後とも学校関係者や地域の理解と協力を得ながら、キャリア教育の一層の充実と発展に職員一同努めていく所存です。